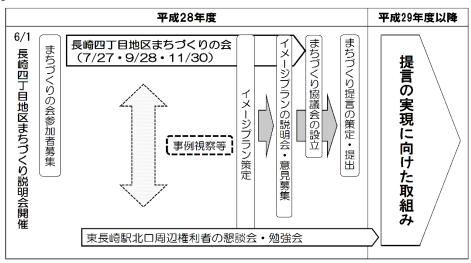
第3号

長崎四丁目地区まちづくりの会について

●対象

- (1)長崎四丁目地区にお住まいの方、事業を営んでいらっしゃる方、土地又は建物を所有されている方
- (2)長崎四丁目地区のまちづくり活動に関心のある方 公募メンバーの他に、町会・商店会推薦者を合わせて30名程度を予定しています。

●スケジュール



●問合せ先

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課 沿道グループ TEL:03-3981-3449(直通) FAX:03-3980-5135

e-mail: A0022706@city.toshima.lg.jp

長崎四丁目地区まちづくりの会 応募用紙

必要事項をご記入いただき、ファックスでお申込みください。

FAX:03-3980-5135

(フリガナ)			所属	
氏 名			(町会等)	
住所(連絡先)	₹			
電話(携帯も可) FAX			メールアドレス	@
希望する連絡方法 〔数字に〇〕	1. メール	2. 郵总	. € 3. FA	X





発 行

豊島区都市整備部地域まちづくり課

問合せ先

03-3981-3449 (直通)

編集協力

一般財団法人首都圏不燃建築公社

長崎四丁目地区

まちづくり懇談会だより

発行: 豊島区都市整備部地域まちづくり課

「長崎四丁目地区まちづくりの会」参加者募集!

区では、平成25年から長崎地区の防災まちづくりに関する取組みをスタートし、不 燃建築物に対する支援を実施すると共に都市計画による新たな防災対策を決定し、個々 の建替え更新によるまちづくりを推進しています。

しかし、本地区では補助 172 号線沿道の整備に伴う商店街・東長崎駅北口周辺の活性化等、個々の対応だけでは解決できない多くの課題が残っています。

これらの課題の解決に向け、今後は地区の防災性や活力を向上させるため、地域の皆さんと協働でまちづくりに取組む必要があると考えています。

そのために、6月1日の説明会でご案内のとおり、区は「長崎四丁目地区まちづくりの会」を開催し、地区の将来像を地域の皆さんと検討していきます。

つきましては、開催にあたり、まちづくりの会の参加者を募集いたします。 皆さんのご参加をお待ちしております!

長崎四丁目地区まちづくりの会 募集要領

●検討概要

- ・地区の将来像(イメージプラン)
- ・地区の将来像実現のための事業手法等 を検討していきます。

●開催日時

(1)日時

第1回:7月27日(水) 第2回:9月28日(水) 第3回:11月30日(水) 各回とも午後7時~8時30分

(2)会場

第 1 回: 特別養護老人ホームアトリエ村 1 階 会議室(長崎 4-23-1)

第2回・第3回の会場については別途お知らせします

※対象及びスケジュールについては、4面をご覧ください。

●応募方法

電話、メール、FAXにて 7月8日(金)までにお申込みください。(詳細は4面) FAXでのお申込みについては、4面の応募申込書をご利用ください。

また、電話、メールでの申し込みについては応募申込書と同じ内容をお伝えください。

※「長崎四丁目地区 今後のまちづくりに関する説明会」(6月1日開催)において当会への参加申込みをされた方につきましては、再度の申込みは不要です。

【長崎四丁目地区】今後のまちづくりに関する説明会を開催しました

6月1日(水)、特別養護老人ホームアトリエ村会議室にて、「今後のまちづくりに関する説明会」を開催しました。

当日は、62名の方にご出席いただき、大変ありがとうございました。長崎四丁目の皆さんのまちづくりに対する関心の高さを改めて感じました。

当日説明いたしました本地区での今後のまちづくりの方向性と、参加者より寄せられたご質問と区の回答を紹介します。



長崎四丁目地区で進める新たなまちづくり

地区の現況 改善に向けた 取組み 今後の新たな 取組み

人口密度が高い、防火木造の建物が密集、細街路が多い

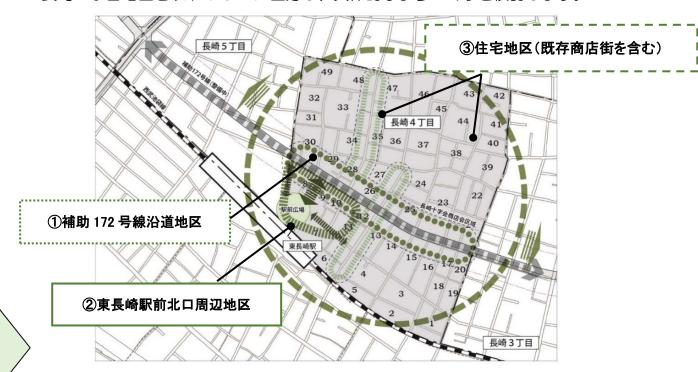
●震災時の火災危険度が高い地域

個々の建替え更新による防災まちづくりの推進

- ●地区計画等の決定と防火規制の強化
- ●不燃建築物への建替えに対する助成等

●地区の防災性の向上や活力を向上させるため、地域の皆さんと豊 島区が協働でまちづくりに取り組むことが必要 これから地域の皆さんと協働で長崎四丁目のまちづくりを進めていくために、「長崎四丁目地区まちづくりの会」を開催します。

長崎四丁目地区を以下の3つに区分し、具体的なまちづくりを検討します。



■質問と区の回答

参加者からの質問

補助 172 号線が通るのは長崎地区 全域なのに、なぜ4丁目だけを 先にまちづくりを進めるのか?

商店を営んでいるが、補助 172号線の完成前に新しい建物等に入居できるのか?

区の回答

長崎四丁目地区ではこれまでも 2 年間ほど地元の 商店街や町会の方々と小さな勉強会に取り組んでき たことなどから、先行してまちづくりを進めます。

今後、長崎5丁目、1~3丁目でも同様の勉強会 組織を立ち上げ、長崎地区全体でまちづくりを進め たいと考えています。

「補助 172 号線沿道地区」は、平成 32 年度完成を目指して進められている道路事業とスケジュールを合わせなければなりません。

そのため、移転先の候補となる共同ビル建設を進めるかなど、皆さんと一緒に街の将来像を早く作りたいと考えています。

参加者からの質問

具体的にどうなるのか、計画を示し て説明してほしい。

まちづくりの会について、会の運営 費は誰が出すのか。 この町には町会や商店会があるが、

会の運営は誰が行うのか。

区の回答

次回から、皆さんに検討いただく計画案 を区が準備します。

ぜひ出席いただき、まちの将来像の議論をお願いしたいと考えています。

会の運営費用等は全て区が負担します。 まちづくりの会の運営は、出席者の中から会長を選んでもらいますが、従来からある町会や商店会と連携した運営が大切だと考えています。

2